います。 から約20年が経過し、 ①長野県内で業務をする現役の作業 この講座の大きな特色は以下の点です。 うな設定にて取り組みをしています。 教育関連の職種の方、ご家族や当事者 催して参りました。 方など様々な立場の方が参加されて 法士が講師を務めています。 会が主催する市 講座のテーマとしては表1のよ 毎回、 民公開講座は開 60 回を超えて開 医療や福祉、 療 始

といった感想もいただき、 なっています。 異なる立場からの気付きを得る機会と 業療法の視点や取り組みもお伝えした みでなく、 労をしている方がいて心強く感じた」 できた」「話し合いを通して、 いと考えています。 ①によって、 ②講座の後半は参加者の皆さんも交え ・感じています。 テーマに集った参加者どうしが、 て話し合う時間を設定しています。 業療法の内容や視点を知ることが %を越えて話すことで、 実は私たち作業療法士にとっ 知識や情報に加えて、 参加者のアンケートでは 参加者の方にとっての また②によって、 とても嬉 理解を深め 同じ苦 その 同 作

創

ŧ

あります。 が広げてくださる、そうした機会でも りそうになる視野を多くの参加者の方 H えや思いに 々の現場での支援を振り返り、 触 れる機会になっています。 狭ま

います。 を軽減 によって「作業」に生じた不便や困 ルフケア、 では、 仕事はもちろん、食事や排泄などの る行為のすべてを「作業」ととらえて たい~」と設定しています。 しょうがいの理解と支援―くらしを創る りだしていく支援が作業療法です。 が含まれます。 市民公開講座では 新しいよろこびを共に見つけていき 私たちの暮らしや人生に存在す そこには毎日の家事、 趣味や余暇を楽しむことまで その人らしい 予期せぬ病気や障害 共通するテーマ 「くらし」 作業療法 育児、 を 難

に学び、 です。 にてお待ちしております。 をいただけましたら幸いです。 を提案していきます。 参加者の方々とともに、 くらしを創ることを共に考え、 今後もそれぞれの分野ごとの 共に語る機会が市民公開講 多くの方に参 その人らし 会場 共 企 座

加 画

日程・会場案内 第66回 8月31日(土) ng飯島会場

第68回10月12日(土)中国塩民会場 塩尻市大門七番町4番3号 塩尻に~5分・JR塩広駅~使歩7分

Φ

を計算の 本野美術館 本野美術館 本野美術館 表野市 保健所 をいる

にじいろキッズらいふ

塩尻総合文化センター

この講座は様々な立場の方の考





講座前半の講義…皆さん、熱心に耳を傾けておら れます

講座の案内を県内の市町村・福祉施設・学校等に送付しています

表1:2019年度 市民公開講座 テーマ設定			
	時期・場所	講座名	講座テーマ
	8月:飯島町	認知症	認知症のある方の生活を豊かにするヒント
		発達(基礎編)	発達の気になる子のどもの特性
	9月:長野市	発達(実践編)	発達しょうがいの理解と支援
		肢体不自由	自己表現への支援
	10月:塩尻市	合同企画	事例を通して支援について考えてみませんか?
		精神障害	子どもから大人までの依存症の理解と支援
		発達(専門編)	発達障害をもつ子どもたちの感覚特性と感覚統合の視点での支援

NAGANO 長野県作業療法士会

第66.67.680市民公開講座 しょうがいの理解と支援

くらしを創る

(プ科芸) 認知症・身障・精神 精神障害 発達・特性の理解と対象について 発達障害 実践・特性の理解と対象について 発達障害 実践・発達師告の理解と支援 発達障害 等7:後期特性と感覚総合の発達

北班長野会期 9月14日(土) 中8塩尻会期 10月12日(土)

~新しいよろこびを 共に見つけていきたい~

七つの講座(分科会)

* 発達障害 版体不自由・重症心身障害

※10月の塩尻市での講座は台風による荒天のため中止といたしました

講座後半の話し合い…参加者は小グループに分かれ、講師も交えて語り 合います。互いの思いに触れ、新たな視点や気付きを得る機会です

などの意識をは、またいでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、

- REMEAL A PREMATION AND A PROPERTY OF THE P

参加費:無料

療育センターらいら、作業療法は、任 美一 「ホームペータ」の場合 専用フォームから (一社) 長野衛門実際は上京ホームページ http://www.uningo の作品を開業をし込みフォームに入力。 長帯電話の場合は右の QL コードを ご開くだるい。



長野県作業療法士会 事業部長 特定非営利活動法人 未来の風 療育センターらいふ 作業療法士

純一 伴

TOPICS

トピックスはイベント情報やニュースなどを紹介するコーナーです!

「福祉機器展inうえだ」に出展しました

からだの機能が低下したお年寄りや障がいのある方の生活を便利にするための用具・機器を福祉機器と言います。今回福祉機器を各種展示して、利用する人の自立支援や介護する人の負担軽減を目指す目的で「福祉機器展inうえだ」が2018年12月12日、13日に上田市の上田創造館にて開催されました。2日間で約400名の方に足を運んでいただきました。このイベントは上田市主催によるもので、長野県作業療法士会は理学療法士、言語聴覚士と一緒にミニ講座、常設コーナーでは作業体験、相談を実施しました。

作業療法士はミニ講座では、入浴動作、段差昇降の日常生活動作に対して、身体機能の低下に合わせ、環境の特徴や危なさを理解してもらい、より安全に動作が行えるための方法や福祉機器の特徴や選ぶ時のポイント、日々新しくなっているベッドやコミュニケーションが不自由な方にスマートフォンやタブレットのアプリケーション、機器の使用方法の紹介、認知症やパーキンソン病の疾患の特徴と特徴に合わせた福祉機器の提案を行いました。また福祉機器だけでなく、健康寿命の延伸に向けた食事摂取や栄養、また尿失禁による生活の質の低下を防ぐための体操等を提示し、実際に身体の評価や体操を行いました。

常設コーナーでは作業療法士数名で作業体験や身体、 生活の困り事に対する相談対応を行いました。作業体験は「ちょこん」という愛称で私の職場で親しまれている、 靴下工場で出る廃材を材料とした作業活動を行いました。











糸としては太く伸びて手編みに適しており、また色も種類があり、選びながら作る楽しみを体験してもらい、作業に没頭する中で作業療法の一部を体験して頂き、関心を持って頂きました。

また今回は高校生の参加が多数あり、特に今後医療や福祉に関係のある職に就いたり、進学する学生が多かったため、作業体験を行いながら具体的な作業療法士の仕事内容や、魅力を伝えたり、実際に高校生の見学を受け付けている事など県士会事業の説明を行いました。

今回の福祉機器展では福祉機器の紹介だけでなく、技術や知識も地域住民に還元する事が出来ました。また今回は若い世代に対し、作業療法の仕事・魅力を知ってもらう事が出来、とても有意義でした。

今後は地域の方にもっと関心、理解を持ってもらい、 医療・福祉を身近に感じてもらう事で、福祉機器の利用 だけでなく、リハビリテーションの知識・技術を自身の生 活課題を解決する能力への応用、みんなで支え合う地域 づくりの構築にも繋がっていくと考えると、開催を手伝わ せていただいている側としても非常にやりがいがあります。

今後こういった地域の方々と直接やりとりが出来る場面の中で、作業療法やリハビリテーション技術・知識を知ってもらう機会を他職種とともに、自分達で増やしていく事も大事だと考えます。そういった場で新たに地域に根ざした作業療法の展開が出来ればと考えます。











今号の表紙 「ビジョントレーニングの様子」

表紙の写真は「ビジョントレーニング」という、見る力を鍛える練習を行っている様子で、頭を動かさず、目だけで数字を順番に探していく課題を行っています。見ることの苦手さが、音読での行とばしや書き間違いの多さ、球技の苦手さなど、不注意や学習困難、運動の苦手さにつながることもあります。

好きなキャラクターの絵を用いることで、やる気も上がります。